

# 学研 おんがく通信

8月号

Gakken

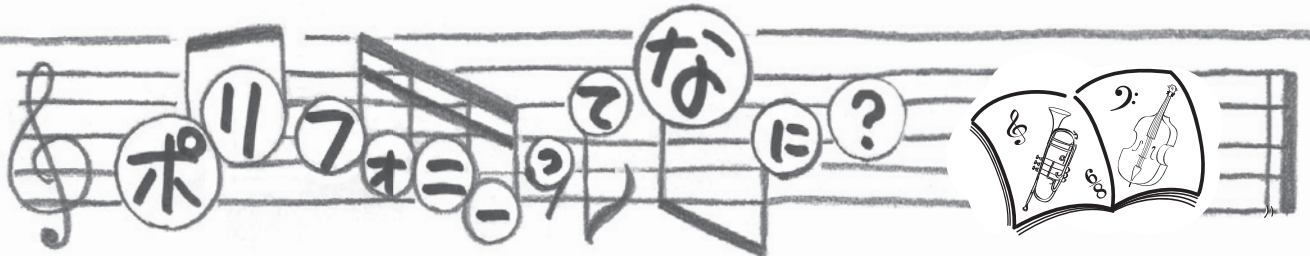
(株)学研パブリッシング 音楽出版事業室  
〒141-8412 東京都品川区西五反田2-11-8  
Tel. 03-6431-1220

学研 おんがく.net <http://gakken-publishing.jp/ongaku/>

学研 電子ストア <http://ebook.gakken.jp/gstore/>

2011  
年  
7  
月  
25  
日

こんにちは！夏真っ盛り。みなさんいかがお過ごしですか？私は毎年この時期になると、宿題だった夏休み計画表にまったく手をつけず、8月末に過ぎ去った50日分の計画をたてなければならぬという、最悪のシナリオを迎えていた幼少期を思い出します。宿題もピアノも、毎日の小さな積み重ねに勝るものはないですね！（め）



“ポリフォニー”…。音楽の世界にいれば、聞いたことがありますよね！なんとなく、メロディーがたくさんある!? ようなイメージがありますが…。「やさしいポリフォニー」(旧題：こどものポリフォニー) 編者の伊能美智子先生、教えてください！

「ポリフォニー」は“多声音楽”と訳されることから分かるように、2つ以上の独立したメロディーが互いにかみ合って進んでいく音楽のことをいいます。中世からルネサンスの時代に声楽(合唱)曲として発達し、器楽—特に鍵盤曲—においては、バロック時代に“対位法”という形でバッハにより完成されています。J.S.バッハの『インヴェンション』は、その代表的な曲集のひとつと言えますね。」

バッハのインヴェンション…!!それはピアノを勉強しているとき、中級のあるステップまで来ると必ず通らなければならない道。いったいなぜなんでしょう？

「それは、バロックに限らず、あらゆる時代の本格的なピアノ曲を弾くとき、“左右の手=10本の指を多声的に使えること”は絶対不可欠な条件となるからで、その勉強のために、作曲技法や芸術的価値からみても『インヴェンション』は最適な教材だから…なのです。」

ふむふむ。なるほど。でも…、『インヴェンション』って、譜を読むのも、演奏するのも、なんだか大変。“ポリフォニー”って、ちょっととっつきにくいかも…?

「確かに、“ポリフォニー”は、バイエルなどの教本で慣れ親しんできた“右手はメロディー、左手は伴奏”(ホモフォニー)という様式とはまったく違います。譜面を見てどのような曲か分かりにくいですし、さらに弾きにくい曲も多いので、敬遠されがちなのも無理はないでしょう。ですが、クラシックのみならずポピュラーでも、“ポリフォニー”は“音楽をより豊かに表現する手法”として、ごく当たり前に用いられていますよ。」

へえ！そうなんだ！意外！ところで“ポリフォニー”って種類とか、あるんですか？

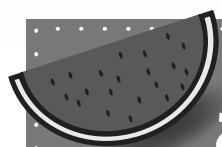
「最初のポリフォニーは、時間をずらしてテーマを追いかける「カノン」です。“かえるのうたが…”がそうですね。さらに、テーマに別のメロディー(対旋律)を組み合わせるとより複雑になった「フーガ」、テーマを思いつくままに展開する、“思いつき”が語源の『インヴェンション』などがあります。」

わあ！インヴェンションに話が戻った…。では、ピアノでポリフォニー曲を練習するときのコツがあったら、ぜひ教えてください。

「まず、メロディー・ラインを理解することです。練習は各声部のメロディーを階名で歌うことから始めましょう。それに、ポリフォニー曲は指づかいが重要です。それぞれの声部がきちんと表現できるよう、楽譜に記された指番号を目安に、手の形や大きさに応じて最も適確なものを選んで守るようにしてください。」

伊能先生、ありがとうございました！（か）

『やさしいポリフォニー』より抜粋



## この夏は、まなべ!

いよいよ夏真っ盛り!夏休みは忙しい子どもたちにとって、日ごろできないことにチャレンジする絶好の機会でもあります。そこでピアノ教室でも、普段はできない“ちょっと違うコード”を取り入れてみては? 編集部のおすすめは、ピアノから離れて調べモノ。

たとえば・・・

- 作曲家のことを知る
- 音楽の歴史を知る
- その時代に使われていた楽器のことを知る
- 作曲についての決まりごとを知る

・・・etc.

自分で調べることは、子どもたちにとってかけがえのない財産になること間違いナシです!

### 編集部オススメの本



●新ジュニア音楽辞典 (音楽之友社)



●伝記 世界の大作作曲家 CD付 (学研パブリッシング)

●4期のピアノ名曲集 CD付 (学研パブリッシング)  
※時代背景の資料が掲載されています

●楽器の絵本 ピアノ (カワイ出版)

## 今月の

## あかね先生



あかね先生は、幼稚園の課外授業で「おんぶのきょうしつ」を主宰されています。この教室は限定10名!体を動かしながら譜読みの基礎を楽しく学んでいます。新メンバーを迎える春はいつも大変なようで、今年も個性豊かな生徒さんがたくさん、とのこと。

ちょっと目を離すと、どこかへふら〜っ…と行ってしまふ子。「ママに会いたい〜!」と泣いている子も、もちろんいます。そして、うとうとする間などないはずなのに、ちょっとした隙にZZZ…の子も! (ブログより抜粋)

彼らはどのように成長していくのでしょうか?夏休みはどうなる??? ブログ「あかね先生のひとりごと」にときどき登場しています。ぜひご覧ください!! (いも)

### \*今月のセミナースケジュール\*

8/29(月): [滋賀県/草津] ロマン楽器 草津本店  
『子どもが飽きないリズムのレッスン!』



# 滝廉太郎の誕生日!

## 8月24日は

★ぼくのお誕生日★



1879年(明治12年)、日本の音楽の未来を担う一人の天才作曲家が誕生します。滝廉太郎です。滝は幼い頃から教会に通い、そこで讃美歌やオルガンの演奏を聴いて育ちました。家には当時では珍しいヴァイオリンやアコーディオンがあり、自然に楽器にも親しんで成長したのです。小学生の頃にはオルガンの名手として知られるようになり、1894年(明治27年)、高等学校を終えると東京音楽学校(現・東京芸術大学)に入学、そこでさらに作曲とピアノを学び才能を開花させていきました。音楽学校を卒業し研究科に進んだ滝は、精力的に作品を書きます。1900年(明治33年)は彼の絶頂期といえるでしょう。この年に生まれた作品には〈花〉〈荒城の月〉〈箱根八里〉といった『中学唱歌』のほか、〈桃太郎〉〈鳩ぼっぼ〉〈お正月〉〈雪やこんこ〉などの『幼稚園唱歌』、そして、日本人作曲家による初めてのピアノ曲〈メヌエット 口短調〉などがあります。1901年(明治34年)、滝は文部省の推薦を受け、ライプツィヒ音楽院に留学します。しかし2か月後、肺結核を患い帰国。2年後の1903年(明治36年)、34年の短い人生を終えます。死の数カ月前に書かれたピアノ曲〈憾〉が彼の絶筆\*ともいわれています。

\*結核ということで多くの遺品が廃棄されてしまったため確認はない

★彼の2つのピアノ曲を弾いてみましょう! 聴いてみましょう! (く)

【楽譜】全音ピアノピース「ピアノのための二つの小品」(全音)

【演奏】: CD「JUST FOR ME」(BIS) 演奏: 小川典子

\*ナクソス・ミュージック・ライブラリーでCDの演奏を試聴ことができます。http://ml.naxos.jp/work/82020



♪バルトロメオ・ジュゼッペ・グアルネリ  
(イタリア/ヴァイオリン製作者/1698.8.21生)

♪クロード・ドビュッシー  
(フランス/作曲家/1862.8.22生)

♪レナード・バーンスタイン  
(アメリカ/作曲家・指揮者/1918.8.25生)

♪アマルカレ・ボンキエツリ  
(イタリア/作曲家/1834.8.31生)

Q **新着情報**

好評『こどものポリフォニー』が、さらに使いやすくなって新登場! バロック時代のオリジナル曲ばかりでなく、おなじみのメロディーがポリフォニーへと変身した曲も多数収録。ピアノを始めたばかりでも“ポリフォニー=左右それぞれの手でメロディーを担当する”体験が無理なくできます。さらに、『バロック時代の曲』『フーガ』…など、収録曲は目的別に分類されていますので、選曲もラクラク。インヴェンションに入る前の学習に最適です。

●やさしいポリフォニー①② 定価: 各1,260円(税込)

**Gakken**

## UDAR

○うださんが作った新しい楽器

## ウダー ~ 其の四 ~



これまで謎の電子楽器ウダーの仕組みや外観について、いろいろと説明してきましたが、肝心の音の話をしていません。ウダーから一体どんな音が鳴るのか、電子楽器というからには強烈な電子音なのか、今回はウダーの音の話です。オリジナルのウダーは、正確に言えば、MIDI コントローラです。ウダー本体はMIDI音源とつながっていて、出そうと思えばどんな音でも出せる、それがウダーでした。しかし、開発者の宇田氏の頭にあったのは、「シンプルな楽器ウダーには、シンプルな音を使いたい」ということでした。



そこで選んだのが「オカリナ」の音です。ほとんどサイン波に近い、その音は彼のお気に入り、どこで演奏するにもその音を使っていたため、いつしかウダーの音色として定着しました。しかしながら、最終的にはウダー専用の音源を開発したいというのが、彼の願いです。そこで、現在のウダーはオリジナルの音源回路も持っています。音源をソフトウエアとして構築しているため、ほかの機能と独立に音色だけを追い求めるわけにはいきませんが、徐々に彼の思う音に近づいてきています。「ウダーの音」は、いまだ発展途上です。

つむりの **練習手帳**

先月、発表会が終わったので、つむりはちっともピアノを練習しません。せっかく新しい本になったのに、何回レッスンに通っても、ずっとおなじ曲ばかり弾いています。バーナムは「ひさしぶりだから。」といってしばらく練習を拒否していましたが、最近しぶしぶ弾き始めたなら気に入っちゃったみたいで、練習を始めると、もう〇をもらったはずのおなじ曲ばかり何回も弾いています。そろそろ違う曲が聞きたいです。(くいしんぼお兄)

**つむり現在の楽譜**

- ◎バーナムピアノテクニック(ミニブック)
- ◎バスティンピアノバイシックス1
- ◎5才のリズムとソルフェージュ
- ◎ミッキーとあそぼう
- 新・ディズニーおんがくドリル②

## 今月のお客さま

今回は、けっこう腹時計鳴りっぱなしのお屋どきに電話が鳴りました。

お店: (以下、店)「××県の〇△楽器です~」

担当: (以下、担)「あつ、、、いつもお世話になっております!」

(店)「いま、お客様がご来店になっていて、Gakkenさんの『新版おんがくドリル』と『標準版おんがくドリル』がどう違うのかっておっしゃっているんですけど…」

**確かに! この2冊、値段が同じ、中身のバツと見も似ていますけど…。**

(担)「『新版』のほうは、発売して30年近く、使い慣れていらっしゃるお客様が多いので人気ですよ。『標準版』のほうは、『新版』と同じ値段ですし、カリキュラムもほぼ同じなんですけれど、問題数が格段に増えています。約1.5倍くらいですかね。それから、2005年の指導要領に沿って、音楽用語なども統一されているんですよ!」

(店)「わかりました! お客様にそのようにご説明してみます!」

(担)「ありがとうございます!」

**数分後、また電話が鳴って…**

(店)「…お客様が、直接説明が聞きたいっておっしゃるので、代わっていただけますか? (涙)」

(担)「……………(絶句)」

担当者の時計は、また10分くらい前に巻き戻されたのでした……。(か)



編集部のつぶやいたー!

かき氷 ピアノの音に 蝉の声  
ん〜蚊取り線香のにおいもいいなあ。THE、日本の夏。  
(@いも)

Tsubuyaitter.....